

平成30年 第9回 飯舘村議会定例会



平成30年12月議会定例会は、12月7日から18日までの日程で開かれました。一般質問は13、14日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は18日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 平成30年度一般会計補正予算
- 平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算
- 水道条例の一部を改正する条例
- 農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例
- 企業立地促進区域及び避難解除区域等における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 白石第2住宅改修工事請負契約の変更について

営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)農業用排水施設等補修工事(取水堰補修)町堰地区請負契約の変更について

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

村表彰式典

9月28日、「平成30年度飯舘村表彰式典」を交流センターで挙行了しました。

今年、栄えある表彰を受けたのは、議会議員及び行政区長活動に功績があった、飯桶善二郎さん(上飯桶)、松下義喜さん(草野)に功労表彰。村教育委員として功績があった佐藤真弘さん(二枚橋・須萱)と農業委員活動に功績のあった末永瑞夫さん(深谷)に同じく功労表彰。スポーツ推進委員として活躍された中川ひろみさん(宮内)に善行表彰が贈られました。

消防団秋季検閲式

10月8日に村消防団秋季検閲式を挙行了しました。約100人の団員が点検に参加。村内在住の消防団員の減少などの課題がありますが、その解決策についても検討を進めていきます。

いいたてスポーツ公園

8月12日にグラウンドオープンした、いいたてスポーツ公園の利用状況は、土日、夜間を中心に、利用者は約5300人、使料は52万円程の収入がありました。特に休日のサッカー場の利用が多くなっています。

鳥獣被害対策関係

飯舘村鳥獣被害対策実施隊18人により、4月から11月までに、イノシシ290頭、サル10頭の駆除を実施し、並行して、村内で作付けを再開する農家の方166件に対して、電気柵やサル対策用フェンスの設置を実施しています。

教育関係

将来的な見通しも考え、平成32年4月からは3小学校を1校に統合して運営したいと考えています。3小学校の統合の在り方と中学校との一貫教育の推進をふまえて「学校等の在り方検討委員会」を設置しました。10月23日に国・県の職員、有識者を交えて、第1回目の会議を開催し、村の義務教育の在り方について検討をスタートしました。今後、視察研修や検討を重ね、村の特性を活かした学校の在り方について、来年9月頃に各種方針を決定したいと考えています。

農政関係

平成30年、村では水田約23haで稲刈りが実施され、うるち米の「里山のつぶ」「天のつぶ」や、もち米の「こがねもち」「ヒメノモチ」、飼料用米の「ふくひびき」のほか、酒米、ホールクロップサイレージが収穫されました。これらについては、全量全袋検査等の県が定めるモニタリング検査を完了し、その全てについて、放射性物質濃度が検出限界値未満であったため、主食用米のほとんど及び飼料用米の全量がJAに出荷されています。

また、村内で生産された野菜等のうち、11月中旬までに県の緊急時モニタリング検査を受検したものは、生産農家16件で延べ115検体、53品目にのぼっており、この他、村の非破壊式等の測定器で自主検査をした約1900検体のうち約650検体の野菜類は、食品放射能基準である1kgあたり100ベクレルを大きく下回り、自家消費分を除く野菜類の一部が「道の駅までいい館」で販売されています。

おかえりなさい補助金

引越越し費用としてスタートしたおかえりなさい補助金は、10月末日現在で344件の申請がありました。

村民の帰還状況について

12月1日現在の村への帰還者は405世帯で834人、震災後の転入者は82人です。これに、未避難者といいたてホームの入所者を合わせ、村内の居住者は487世帯で958人です。

村内見守り活動

7月からNPO法人もりの駅まごころ運営協議会に委託している「安否確認・見守り健康支援事業」は帰村した村民が家庭訪問を行っており、とても好評です。

また、郵便局が行っている見守りサービス「見守り訪問サービス」を村が郵便局と委託契約を結び実施することになりました。現在4名の方の契約が済んでいます。

